

平成29年 労働者死傷病報告受理件数表

平成29年10月末現在
群馬労働局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製造業		1	1		2		1		5	3	2
		96	178	33	160	20	29	2	518	599	-81
	食料品製造業	34	64	5	28	9	9	2	151	184	-33
鉱業			2				1	1	4	2	2
建設業			1			1		1	3	3	
		53	48	14	33	10	5	12	175	172	3
	木造家屋等建築工事	15	13	4	5		1	2	40	34	6
交通運輸・貨物取扱業			1		1				2	2	
		46	116	11	49	3	10	8	243	269	-26
	道路貨物運送業	31	102	10	44	2	8	7	204	225	-21
林業		1							1	1	
		7	1	9		2	1	3	23	22	1
上記以外の事業				1	1		2		4	5	-1
		194	255	46	123	49	23	31	721	739	-18
	卸売業・小売業	65	77	19	31	12	7	2	213	241	-28
	通信業	14	16	1	4	2	2	2	41	47	-6
	医療保健業・ 社会福祉施設	43	57	12	22	9	7	6	156	127	29
	旅館・ホテル業	3	9			4		5	21	26	-5
計		2	3	1	4	1	3	1	15	14	1
		396	600	113	365	84	69	57	1,684	1,803	-119
前年同期		1	7		2		1	3	14		
		384	715	109	390	63	88	54	1,803		
増減		1	-4	1	2	1	2	-2	1		
		12	-115	4	-25	21	-19	3	-119		

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
転倒災害	72	122	24	74	19	13	15	339	495	-156
食料品加工用機械災害	8	7	2	4	2	1		24	28	-4
建設機械災害	4	6	1	5			2	18	16	2
クレーン・玉掛災害	16	10	1	9		1	1	38	28	10
外国人の災害	10	39	1	36		3		89	94	-5
公共工事の災害	9	1		2	3		1	2	1	1
		9					6	29	36	-7
交通労働災害	22	1	8	2	5	1	1	4	3	1
		44		18		6		104	102	2
荷主先災害	15	61	6	7		6	4	99	96	3

- 注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。
 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。
 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

平成29年 死亡災害発生状況

平成29年10月末現在

群馬労働局

	27年	28年	29年	対27年比	対28年比
製造業	3	3	5	2	2
鉱業					
建設業	3	3	3		
運輸交通業		2	2	2	
貨物取扱業					
林業		1	1	1	
その他	4	5	4		-1
計	10	14	15	5	1

平成29年死亡災害事例（建設業以外）

平成29年10月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 11時頃 4人	60歳代 男 作業員	太陽光発電設備設置のための造成工事現場において、立木の伐採作業に従事していた被災者が、胸高直径約30cmの伐倒木の下敷きになっているのを発見された。	その他の林業	崩壊・倒壊	立木等
2	1月 15時頃 4人	50歳代 男 運転手	軽四貨物トラックを運転していた被災者が、対向車線のセンターラインオーバーの大型トラックと正面衝突した。	一般貨物運送業	交通事故（道路）	トラック
3	2月 9時頃 28人	40歳代 男 修理工	自動販売機の修理のため、社用車のバンを運転し首都高速を走行中、前のトラックに視界を遮られ右側に車線変更したところ、すぐ右横にトラックが故障で停止しており、そのまま激突した。	機械修理業	交通事故（道路）	トラック
4	2月 8時頃 28人	60歳代 男 作業員	午前7時頃からゴルフ場内の落葉の処理作業をトラクターで行っていたが、その後、行方が分からなくなり、翌日、池の中から遺体で発見された。	ゴルフ場	おぼれ	水
5	3月 19時頃 47人	50歳代 男 営業	営業担当であった被災者は、製品の納品や立会い業務等によって、恒常的な長時間労働、深夜労働、休日出勤となり、大動脈解離を発症し、死亡した。	その他の小売業	その他	起因物なし
6	4月 17時頃 60人	20歳代 男 作業員	工場内において、派遣労働者と2人でプレス（400t、クランクプレス）加工作業中、被災者が金型内に頭を入れている時、派遣労働者がプレスを起動させ、被災者が頭をプレス機にはさまれ、死亡した。	自動車・同付属品製造業	はさまれ・巻き込まれ	プレス機械
7	6月 13時頃 60人	40歳代 男 作業員	製造した機械装置のメンテナンスのため、同僚と2人で県外の客先へ出張し、調整作業中の機械装置に頭部をはさまれ、死亡した。	機械器具製造業	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械
8	8月 2時頃 68人	30歳代 男 作業員	被災者は、製品を自動倉庫（冷凍庫）内に入庫する作業中、走行してきた倉庫内に設置されていたスタッカークレーン（自動棚積み用）と冷凍庫入り口の固定踏み台との間に身体をはさまれ、死亡した。	肉製品・乳製品製造業	はさまれ・巻き込まれ	クレーン
9	8月 5時頃 31人	40歳代 男 運転手	荷の配送のため大型トラックで国道を走行中、交差点で大型トレーラーと衝突し重体となっていたが、約1ヶ月後に死亡した。	一般貨物運送業	交通事故（道路）	トラック
10	9月 11時頃 2人	60歳代 男 警備員	国道歩道舗装工事現場近隣の別会社敷地内に駐車してあった無人トラックが逸走し、工事現場内の国道中央付近で一般車両の交通誘導をしていた被災者が、トラックに轢かれ死亡した。	警備業	交通事故（道路）	トラック

平成29年死亡災害事例（建設業以外）

平成29年10月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
11	9月 10時頃 11人	50歳代 男 作業者	1人で設備の清掃、点検作業をしていた被災者が、ベルトコンベアーとホッパー先端に固定されている原料飛散防止用のゴムカバーの間に、首が挟まれた状態で発見された。死因は出血性ショック。	化学工業	はさまれ・巻き込まれ	コンベア
12	9月 10時頃 5人	40歳代 男 作業者	被災者を含む5名で、空き地の除草作業を行っていたところ、乗用式草刈機を使用して作業を行っていた被災者が、草刈機の下敷きになっているところを発見され病院に搬送されたが、災害発生日の午後4時30分頃死亡した。	農業	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械

平成29年死亡災害事例（建設業）

平成29年10月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 店社人数・現場人数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	発注者	事故の型別	起因物別
1	7月 15時頃 5人	40歳代 男 鳶工	高速道路の橋梁補修工事で使用されていた、地上約33mの高さに設置されていたつり足場の解体作業中、足場用つりチェーンのクランプがはずれ、足場板が傾き、足場板の上に載っていた被災者が33m下の地面に墜落し死亡した。	民間	墜落・転落	足場
2	9月 8時頃 35人	70歳代 男 作業員	高さ約10mに積まれた残土の上にドラグ・ショベルで上がり整地作業中、ドラグ・ショベルが土砂に埋まり傾き転倒し、被災者が運転席から投げ出されドラグ・ショベルの下敷きとなり死亡した。	公団	転倒	車両系建設機械
3	10月 17時頃 7人	60歳代 男 作業員	水力発電所の導水路の補修作業に伴い、内燃機関付高圧水洗浄機により、ずい道の内壁の洗浄作業を行っていたところ、内燃機関の発する一酸化炭素により意識を消失し、その後死亡した。	県	有害物等との接触	有害物

平成29年 重大災害事例

平成29年10月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場数・(現場人数)	被災人数	災害のあらまし	災害の種類	事故の型	起因物
1	8月 10時頃 10人	8人	建設業者が工場内に機械据付を行うため、手押し式コンクリートカッターを使用して、コンクリート床面を破砕する工事を開始し約3時間が経過したころ、工事個所周辺で加工作業を行っていた工場労働者8名が、手押し式コンクリートカッターの排ガスを吸入し、一酸化炭素中毒症状を発症した。 なお、建設業者の労働者に被害はなかった。	3人以上の災害	有害物等との接触	有害物
2	10月 17時頃 7人	3人	水力発電所の導水路の補修作業に伴い、内燃機関付高圧水洗浄機により、ずい道の内壁の洗浄作業を行っていたところ、1名が内燃機関の発する一酸化炭素(CO)により意識を消失し、他の2名も軽度のCO中毒症状を呈した。3名は病院搬送されたが、意識消失の1名はその後死亡し、他2名は一週間程度の入院加療となった。	3人以上の災害	有害物等との接触	有害物